

RS豪ドル債券ファンド 〈愛称 為替リスク配慮型豪ドル債券ファンド〉

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2019年6月17日） 第86期（決算日 2019年8月19日） 第88期（決算日 2019年10月17日）
第85期（決算日 2019年7月17日） 第87期（決算日 2019年9月17日） 第89期（決算日 2019年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「RS豪ドル債券ファンド」は、2019年11月18日に第89期の決算を行ないましたので、第84期から第89期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年7月11日から2022年5月17日までです。
運用方針	主として、豪ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行なうとともに、市況動向等に応じて為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641790>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基 準 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 率	資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落					
	円		円			%		%	百万円
60期(2017年6月19日)	9,370		60			—		99.4	4,712
61期(2017年7月18日)	9,540		60			—		98.3	4,219
62期(2017年8月17日)	9,486		60			—		98.3	3,838
63期(2017年9月19日)	9,550		60			—		98.6	3,719
64期(2017年10月17日)	9,439		60			—		98.8	3,453
65期(2017年11月17日)	9,223		60			—		98.8	3,240
66期(2017年12月18日)	9,231		60			—		99.0	3,251
67期(2018年1月17日)	9,308		60			—		98.5	3,236
68期(2018年2月19日)	8,803		60			—		99.4	2,977
69期(2018年3月19日)	8,569		60			—		99.5	2,903
70期(2018年4月17日)	8,630		60			—		98.3	2,924
71期(2018年5月17日)	8,531		60			—		97.9	2,877
72期(2018年6月18日)	8,457		60			—		98.5	2,803
73期(2018年7月17日)	8,550		60			—		99.0	2,787
74期(2018年8月17日)	8,240		60			—		99.0	2,643
75期(2018年9月18日)	8,119		60			—		98.2	2,563
76期(2018年10月17日)	8,050		60			—		98.4	2,504
77期(2018年11月19日)	8,249		60			—		98.1	2,530
78期(2018年12月17日)	8,038		60			—		98.1	2,432
79期(2019年1月17日)	7,853		60			—		97.8	2,325
80期(2019年2月18日)	7,968		60			—		98.7	2,350
81期(2019年3月18日)	7,964		60			—		99.0	2,325
82期(2019年4月17日)	8,059		60			—		97.9	2,325
83期(2019年5月17日)	7,663		60			—		99.1	2,183
84期(2019年6月17日)	7,606		60			—		98.4	2,163
85期(2019年7月17日)	7,694		60			—		97.6	2,196
86期(2019年8月19日)	7,307		60			—		99.2	2,083
87期(2019年9月17日)	7,399		60			—		98.8	2,093
88期(2019年10月17日)	7,353		60			—		99.2	2,064
89期(2019年11月18日)	7,289		60			—		98.0	2,013

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

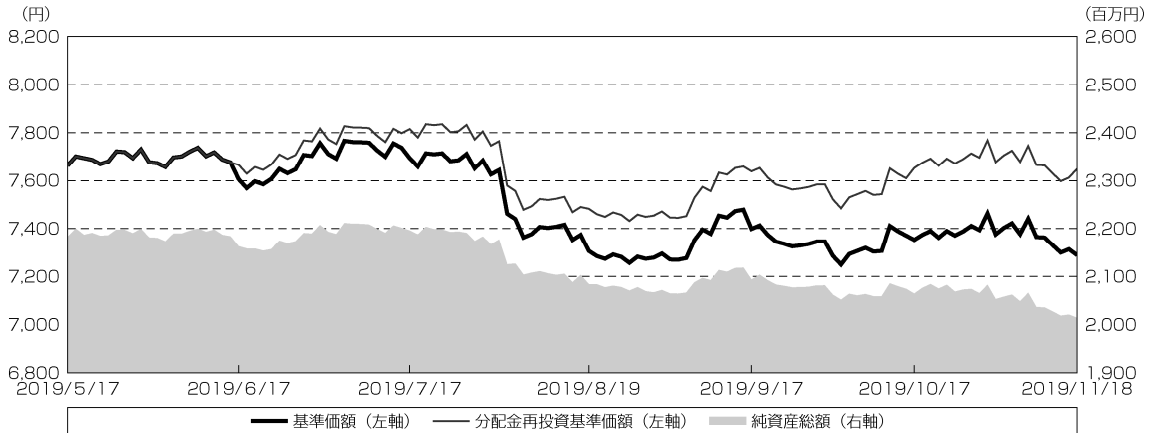
決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第84期	(期 首) 2019年5月17日	円 7,663		% —	% 99.1
	5月末	7,677		0.2	98.0
	(期 末) 2019年6月17日	7,666		0.0	98.4
第85期	(期 首) 2019年6月17日	7,606		—	98.4
	6月末	7,703		1.3	98.5
	(期 末) 2019年7月17日	7,754		1.9	97.6
第86期	(期 首) 2019年7月17日	7,694		—	97.6
	7月末	7,626		△0.9	98.7
	(期 末) 2019年8月19日	7,367		△4.3	99.2
第87期	(期 首) 2019年8月19日	7,307		—	99.2
	8月末	7,296		△0.2	97.9
	(期 末) 2019年9月17日	7,459		2.1	98.8
第88期	(期 首) 2019年9月17日	7,399		—	98.8
	9月末	7,346		△0.7	98.7
	(期 末) 2019年10月17日	7,413		0.2	99.2
第89期	(期 首) 2019年10月17日	7,353		—	99.2
	10月末	7,463		1.5	98.6
	(期 末) 2019年11月18日	7,349		△0.1	98.0

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年5月18日～2019年11月18日)

作成期間中の基準価額等の推移



第84期首：7,663円
 第89期末：7,289円（既払分配金（税込み）：360円）
 騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年5月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、豪ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行なうとともに、市況動向などに応じて為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・オーストラリアの債券利回りが総じて低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・期間の前半にポートフォリオのデュレーション（金利感応度）を長めとしたこと。

投資環境

(豪ドル建て債券市況)

オーストラリアの債券市場では、債券利回りは、期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2019年10月上旬にかけては、市場予想を上回る米国雇用統計などを受けて米回国債利回りが上昇したことや、オーストラリアの2019年第2四半期国内総生産（GDP）成長率が前期を上回る伸びとなったことなどから、オーストラリアの債券利回りが上昇（債券価格は下落）する局面も見られたものの、オーストラリア準備銀行（RBA）が政策金利を引き下げたことや、オーストラリアの小売上高が市場予想を下回ったこと、米中貿易摩擦に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、オーストラリアの債券利回りは総じて低下しました。10月中旬から期間末にかけては、米中の貿易協議での部分合意に向けた期待などからリスク回避姿勢が後退したことや、オーストラリアの雇用統計で失業率が前月から改善したことなどをを受けて、オーストラリアの債券利回りは総じて上昇しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.22%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。

円／オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

収益性を追求するため、「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。なお、期間中においては、2019年8月に一時的に為替ヘッジを行ないました。為替ヘッジの効果は若干のマイナスに寄与しました。

(オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA)

ポートフォリオでは、国債、準政府債や政府保証債、国際機関債、社債などを中心に、BBB一格相当以上の豪ドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別しました。

期間の初めから2019年7月にかけては、満期が5年以下の社債および金融債の組入比率を高めとしましたが、8月に高めの幅を縮小させ、期間末には、満期が3年以下の銘柄を中心とした組入れとしました。また、満期が7年を超える準政府債や、住宅ローン担保証券(RMBS)などの組入れも高めとしました。

デュレーション(金利感応度)については、期間の前半は長めとしましたが、その後は中立とし、期間末にかけては短めとしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年5月18日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月17日	2019年7月18日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月17日	2019年10月18日～ 2019年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.783%	60 0.774%	60 0.814%	60 0.804%	60 0.809%	60 0.816%
当期の収益	20	26	19	25	20	20
当期の収益以外	39	33	40	34	39	39
翌期繰越分配対象額	1,761	1,728	1,687	1,653	1,613	1,573

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。また期間末現在、為替ヘッジは行なっていません。今後、金融市場の変動が大きくなると判断される局面では為替ヘッジを実施し、基準価額への為替変動の影響を抑えることをめざします。

(オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA)

引き続き、国債、準政府債や政府保証債、国際機関債、社債などを中心に、BBB-格相当以上の豪ドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別し、分散投資を行なう方針です。債券運用に関しては以下の事を検討します。①全体的にデュレーションは短期化します。イールドカーブの形状を踏まえて、当ファンドは、短期債および超長期債は高め、10年物債券は控えめの投資比率を選好しています。②残存期間0～3年の社債ウェイトを高め、また、国債に対して残存期間10年以上の準国債のウェイトを高めに維持します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月18日～2019年11月18日)

項 目	第84期～第89期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 35	% 0.467	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.061)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.389)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.064	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.046)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	40	0.531	
作成期間の平均基準価額は、7,518円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

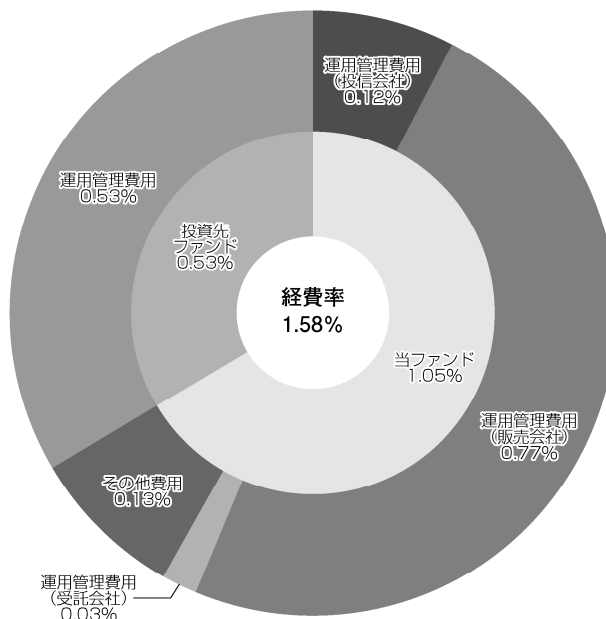
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.58%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.58
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月18日～2019年11月18日)

投資信託証券

銘柄		第84期～第89期					
		買付			売付		
		口数	金額	口数	金額		
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル		
	オーストラリア・ボンド・ファンドクラスA	233	190	3,131	2,550		

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月18日～2019年11月18日)

利害関係人との取引状況

<RS 豪ドル債券ファンド>

区分	第84期～第89期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 142	百万円 142	% 100.0	百万円 142	百万円 142	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第84期～第89期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 2,741	百万円 2,741	% 100.0	百万円 2,741	百万円 2,741	% 100.0

平均保有割合 1.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年5月18日～2019年11月18日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年5月18日～2019年11月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第83期末		第89期末		
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%
オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA	35,692	32,794	26,590	1,972,982	98.0
合計	35,692	32,794	26,590	1,972,982	98.0

(注) 邦貨換算金額は、第89期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第83期末		第89期末	
	口数	口数	口数	評価額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口	千口	千口	千円
	5,978	5,978	5,978	5,994

(注) 親投資信託の2019年11月18日現在の受益権総口数は、622,625千口です。

○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項目	第89期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
	1,972,982	96.9
マネー・アカウント・マザーファンド	5,994	0.3
コール・ローン等、その他	56,599	2.8
投資信託財産総額	2,035,575	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当作成期末における外貨建純資産 (1,980,770千円) の投資信託財産総額 (2,035,575千円) に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=74.20円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
	2019年6月17日現在	2019年7月17日現在	2019年8月19日現在	2019年9月17日現在	2019年10月17日現在	2019年11月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,185,828,862	2,216,946,710	2,129,326,270	2,116,899,798	2,091,240,750	2,035,575,737
コール・ローン等	50,999,990	38,193,697	48,107,069	35,783,973	30,119,337	15,046,427
投資信託受益証券(評価額)	2,128,833,202	2,143,446,998	2,067,758,804	2,067,495,370	2,047,613,084	1,972,982,837
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	5,995,670	5,995,670	5,995,072	5,995,072	5,995,072	5,994,474
未収入金	—	21,282,800	7,465,325	—	—	41,551,999
未収配当金	—	8,027,545	—	7,625,383	7,513,257	—
(B) 負債	22,655,434	20,731,431	45,331,920	23,408,199	27,074,107	21,711,591
未払金	—	—	24,241,860	—	—	—
未払収益分配金	17,065,057	17,126,527	17,112,021	16,977,088	16,844,570	16,577,279
未払解約金	3,726,599	1,632,284	1,697,165	4,258,233	7,841,067	2,477,937
未払信託報酬	1,686,421	1,631,733	1,762,445	1,504,644	1,564,543	1,667,579
未払利息	50	48	56	50	35	65
その他未払費用	177,307	340,839	518,373	668,184	823,892	988,731
(C) 純資産総額(A－B)	2,163,173,428	2,196,215,279	2,083,994,350	2,093,491,599	2,064,166,643	2,013,864,146
元本	2,844,176,210	2,854,421,231	2,852,003,642	2,829,514,826	2,807,428,384	2,762,879,834
次期繰越損益金	△ 681,002,782	△ 658,205,952	△ 768,009,292	△ 736,023,227	△ 743,261,741	△ 749,015,688
(D) 受益権総口数	2,844,176,210口	2,854,421,231口	2,852,003,642口	2,829,514,826口	2,807,428,384口	2,762,879,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	7.606円	7.694円	7.307円	7.399円	7.353円	7.289円

(注) 当ファンドの第84期首元本額は2,849,487,851円、第84～89期中追加設定元本額は153,256,706円、第84～89期中一部解約元本額は239,864,723円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第84期0.7606円、第85期0.7694円、第86期0.7307円、第87期0.7399円、第88期0.7353円、第89期0.7289円です。

(注) 2019年11月18日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は749,015,688円です。

○損益の状況

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年5月18日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月17日	2019年7月18日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月17日	2019年10月18日～ 2019年11月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,887,224	8,024,276	7,482,464	7,616,913	7,499,181	7,447,210
受取配当金	7,892,362	8,027,545	7,488,262	7,625,382	7,513,257	7,454,775
受取利息	—	—	—	—	246	—
支払利息	△ 5,138	△ 3,269	△ 5,798	△ 8,469	△ 14,322	△ 7,565
(B) 有価証券売却損益	△ 5,157,558	35,988,309	△ 97,857,982	37,007,229	△ 1,847,263	△ 6,534,284
売却益	24,245,680	60,403,798	70,888,298	75,543,005	19,033,585	12,674,079
売却損	△ 29,403,238	△ 24,415,489	△ 168,746,280	△ 38,535,776	△ 20,880,848	△ 19,208,363
(C) 信託報酬等	△ 1,918,878	△ 1,857,734	△ 2,013,276	△ 1,715,875	△ 1,781,758	△ 1,894,557
(D) 当期損益金 (A + B + C)	810,788	42,154,851	△ 92,388,794	42,908,267	3,870,160	△ 981,631
(E) 前期繰越損益金	△ 684,663,217	△ 683,508,758	△ 637,369,862	△ 727,101,713	△ 683,789,026	△ 670,694,909
(F) 追加信託差損益金	19,914,704	274,482	△ 21,138,615	△ 34,852,693	△ 46,498,305	△ 60,761,869
(配当等相当額)	(512,022,799)	(502,754,176)	(492,927,390)	(477,487,623)	(464,181,571)	(445,869,462)
(売却損益相当額)	(△ 492,108,095)	(△ 502,479,694)	(△ 514,066,005)	(△ 512,340,316)	(△ 510,679,876)	(△ 506,631,331)
(G) 計 (D + E + F)	△ 663,937,725	△ 641,079,425	△ 750,897,271	△ 719,046,139	△ 726,417,171	△ 732,438,409
(H) 収益分配金	△ 17,065,057	△ 17,126,527	△ 17,112,021	△ 16,977,088	△ 16,844,570	△ 16,577,279
次期繰越損益金 (G + H)	△ 681,002,782	△ 658,205,952	△ 768,009,292	△ 736,023,227	△ 743,261,741	△ 749,015,688
追加信託差損益金	8,816,728	△ 9,165,089	△ 32,783,346	△ 44,506,997	△ 57,624,144	△ 71,785,410
(配当等相当額)	(500,924,823)	(493,314,605)	(481,282,659)	(467,833,319)	(453,055,732)	(434,845,921)
(売却損益相当額)	(△ 492,108,095)	(△ 502,479,694)	(△ 514,066,005)	(△ 512,340,316)	(△ 510,679,876)	(△ 506,631,331)
分配準備積立金	1,657	72	1,714	2,711	1,258	—
繰越損益金	△ 689,821,167	△ 649,040,935	△ 735,227,660	△ 691,518,941	△ 685,638,855	△ 677,230,278

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売却損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2019年5月18日～2019年11月18日) は以下の通りです。

項 目	2019年5月18日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月17日	2019年7月18日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月17日	2019年10月18日～ 2019年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,968,117円	7,685,385円	5,468,932円	7,323,800円	5,717,309円	5,552,505円
b. 有価証券売却等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	512,022,799円	502,754,176円	492,927,390円	477,487,623円	464,181,571円	445,869,462円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	621円	1,643円	72円	1,695円	2,680円	1,233円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	517,991,537円	510,441,204円	498,396,394円	484,813,118円	469,901,560円	451,423,200円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,821円	1,788円	1,747円	1,713円	1,673円	1,633円
g. 分配金	17,065,057円	17,126,527円	17,112,021円	16,977,088円	16,844,570円	16,577,279円
h. 分配金(1万円当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
1 万口当たり分配金 (税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

○お知らせ

約款変更について

2019年5月18日から2019年11月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA	
	ルクセンブルグ籍豪ドル建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス*のリターンを、3年間で上回る投資成果をあげることを目指します。	
主な投資対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・豪ドル建ての国債、政府保証債、準政府債、社債などに投資します。 ・格付がA-（長期格付）／A 1（短期格付）格相当未満の債券もしくは格付を取得していない債券の組入比率は、合計で純資産の10%以内とします。 ・取得時において、格付がBBB-（長期格付）／A 2（短期格付）格相当未満の債券には投資しません。 ・運用の効率化のために、先物取引やスワップ取引を行なうことがあります。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行ないません。 ・証券の空売りは行ないません。 	
収益分配	原則として、毎月12日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.54% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興AMリミテッド	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

*Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index（オーストラリアドルベース）を指します。

ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社は、本指数を是認および推奨するものではなく、本指数の全ておよび一部の使用により生じたいかなる損失または損害に関し、一切の責任を負わないものとします。

◆投資ポートフォリオ

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日現在

通貨	元本金額	明細	純資産に占める割合 (%)	市場価格
		A. 証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券		
		債券 (97.8%)		
		オーストラリア (86.6%)		
		資産担保証券 (11.3%)		
AUD	298,080	ABA Trust 2017-1 Class A 3.19% due 01/16/2049 ⁽¹⁾	1.0%	AUD 297,466
AUD	364,375	Barton Series 2017-1 Trust Class A1 3.14% due 12/17/2048 ⁽¹⁾	1.2	362,921
AUD	374,341	CNH Industrial Capital Australia Receivables Trust Series 2017-1 2.87% due 08/16/2024 ⁽¹⁾	1.2	373,589
AUD	305,671	ConQuest 2017-1 Trust Class A1 3.12% due 12/15/2048 ⁽¹⁾	1.0	304,806
AUD	304,097	Liberty Series 2017-1 Auto 3.08% due 12/25/2026 ⁽¹⁾	1.0	303,522
AUD	500,000	Medallion Trust Series 2014-1 Class A3 4.50% due 04/22/2046	1.7	501,120
AUD	200,000	Redzed Trust Series 2018-1 3.45% due 03/09/2050 ⁽¹⁾	0.7	199,470
AUD	405,002	RESIMAC Premier Series 2017-2 Class A2 3.14% due 01/15/2049 ⁽¹⁾	1.3	403,479
AUD	314,777	Series 2017-1 Harvey Trust Class A1 3.09% due 12/16/2048 ⁽¹⁾	1.0	313,263
AUD	371,380	Triton Trust No 7 Bond Series 2017-1 Class A1B 3.20% due 12/21/2048 ⁽¹⁾	1.2	370,299
		資産担保証券合計		3,429,935
		社債等 (24.2%)		
AUD	500,000	Ale Direct Property Trust * 4.00% due 08/20/2022	1.7	505,446
USD	200,000	APT Pipelines Ltd. * 4.25% due 07/15/2027	0.9	276,430
AUD	500,000	Australia & New Zealand Banking Group Ltd. 3.10% due 01/18/2023	1.7	503,243
AUD	500,000	Commonwealth Bank of Australia * 3.25% due 07/25/2022	1.6	506,837
AUD	500,000	3.25% due 11/17/2026	1.6	497,152
AUD	300,000	Dexus Wholesale Property Fund * 4.25% due 07/01/2019	1.0	300,233
AUD	500,000	FBG Finance Pty Ltd. * 3.75% due 08/07/2020	1.7	506,083
AUD	500,000	General Property Trust 4.50% due 09/11/2020	1.7	508,112
AUD	500,000	Holcim Finance Australia Pty Ltd. 3.50% due 06/16/2022	1.7	506,643
AUD	500,000	John Deere Financial Ltd. 3.25% due 07/15/2022	1.7	505,870
AUD	500,000	Nissan Financial Services Australia Pty Ltd. * 3.00% due 03/03/2020	1.6	500,228
AUD	500,000	Perth Airport Pty Ltd. 6.00% due 07/23/2020	1.7	523,797
AUD	500,000	Shopping Centres Australasia Property Retail Trust * 3.90% due 06/07/2024	1.6	498,099
AUD	500,000	Toyota Finance Australia Ltd. * 2.72% due 11/22/2021 ⁽¹⁾	1.6	498,381
AUD	500,000	Westpac Banking Corp. * 3.20% due 03/06/2023	1.7	503,636
AUD	200,000	Zurich Finance Australia Ltd. * 3.48% due 05/31/2023	0.7	203,687
		社債等合計		7,343,877
		国債 (51.1%)		
AUD	3,300,000	Australia Government Bond 2.75% due 11/21/2027	11.3	3,418,467
AUD	800,000	3.00% due 03/21/2047	2.7	827,695
AUD	750,000	3.75% due 04/21/2037	2.9	870,878
AUD	1,000,000	4.75% due 04/21/2027	3.9	1,187,382

通貨	元本金額	明細	純資産に占める割合 (%)	市場価格
		債券 (97.8%) (続き)		
		オーストラリア (86.6%) (続き)		
		国債 (51.1%) (続き)		
AUD	500,000	Australian Capital Territory * 3.00% due 04/18/2028	1.7%	AUD 505,968
AUD	3,000,000	New South Wales Treasury Corp. 3.00% due 04/20/2029 *	10.1	3,038,807
AUD	900,000	3.00% due 02/20/2030	3.0	906,669
AUD	2,500,000	4.00% due 05/20/2026	9.0	2,741,090
AUD	500,000	Queensland Treasury Corp. 3.25% due 08/21/2029 ⁽²⁾	1.7	513,180
AUD	1,400,000	3.50% due 08/21/2030 ⁽²⁾	4.8	1,463,930
		国債合計		15,474,066
		オーストラリア合計		26,247,878
		カナダ (3.6%)		
		国債 (3.6%)		
AUD	1,000,000	Province of British Columbia Canada 4.25% due 11/27/2024	3.6	1,083,444
		国債合計		1,083,444
		カナダ合計		1,083,444
		香港 (1.6%)		
		社債等 (1.6%)		
AUD	500,000	Hongkong & Shanghai Banking Corp. Ltd * 2.79% due 12/07/2022 ⁽¹⁾	1.6	496,227
		社債等合計		496,227
		香港合計		496,227
		ルクセンブルグ (1.0%)		
		社債等 (1.0%)		
AUD	300,000	Aroundtown S.A. * 4.50% due 05/14/2025	1.0	301,800
		社債等合計		301,800
		ルクセンブルグ合計		301,800
		ニュージーランド (1.7%)		
		社債等 (1.7%)		
AUD	500,000	Fonterra Co.-operative Group Ltd. 4.50% due 06/30/2021	1.7	521,060
		社債等合計		521,060
		ニュージーランド合計		521,060
		スイス (1.6%)		
		社債等 (1.6%)		
AUD	500,000	UBS AG 2.70% due 08/10/2020	1.6	500,173
		社債等合計		500,173
		スイス合計		500,173
		米国 (1.7%)		
		社債等 (1.7%)		
AUD	500,000	Intel Corp. 4.00% due 12/01/2022	1.7	519,682
		社債等合計		519,682
		米国合計		519,682
		債券合計 (取得原価29,041,738豪ドル)		29,670,264
		証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている 譲渡可能証券合計 (取得原価29,041,738豪ドル)	97.8%	AUD 29,670,264
		負債額を超過する現金およびその他の資産	2.2	667,273
		純資産合計	100.0%	AUD 30,337,537

* この投資は他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券。その他すべての投資は公式の証券取引所で相場が建てられている譲渡可能証券。

(1) 2018年12月31日現在の変動金利。

(2) 144A 証券 - 1933年証券法規則144Aに基づき登録が免除された証券。これらの証券は登録を免除された取引において、典型的には適格機関投資家の買手に転売することができる。別段の記載がない限り、これらの証券は流動性が低いとはみなされない。

外国通貨表記

AUD 豪ドル
USD 米ドル

◆損益計算書および純資産変動計算書

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日に終了した年度

豪ドル

純投資収益

収益

利息

AUD 1,047,820

収益合計

1,047,820

費用

預託費用

19,773

支払利息

1,834

管理報酬

72,022

取引費用

15,342

年次税

3,326

運用報酬

13,575

監査報酬

453

名義書換代理人報酬

13,236

弁護士報酬

2,026

投資顧問報酬

152,721

その他の費用

11,851

費用合計

306,159

投資純利益

741,661

実現および未実現純利益（損失）

投資に係る実現純利益

123,996

先物契約に係る実現純損失

(35,011)

通貨スワップ契約に係る実現純損失

(11,920)

投資に係る未実現評価益の純変動額

433,789

外国為替取引および外国為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額

69

先物契約に係る未実現評価損の純変動額

(9,727)

通貨スワップ契約に係る未実現評価損の純変動額

(6,083)

投資に係る実現および未実現純利益

495,113

運用による純資産の純増加額

1,236,774

資本取引による純資産の減少額

(5,149,277)

受益者に対する分配決定額

(2,570,544)

純資産の減少額合計

(6,483,047)

純資産

期首

36,820,584

期末

AUD 30,337,537

◆統計情報

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日現在

純資産合計オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

AUD 30,337,537

発行済受益証券口数オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

38,720,732

受益証券1口当たり純資産価額オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

AUD 0.78

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年10月15日）
（2018年10月13日～2019年10月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
6期(2015年10月13日)	円		%	%	百万円
	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2018年10月12日	円		%
	10,032		—
10月末	10,032		0.0
11月末	10,032		0.0
12月末	10,031		△0.0
2019年1月末	10,031		△0.0
2月末	10,030		△0.0
3月末	10,030		△0.0
4月末	10,030		△0.0
5月末	10,029		△0.0
6月末	10,029		△0.0
7月末	10,028		△0.0
8月末	10,028		△0.0
9月末	10,028		△0.0
(期 末) 2019年10月15日	10,028		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年10月13日～2019年10月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,032円の基準価額は、期間末に10,028円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

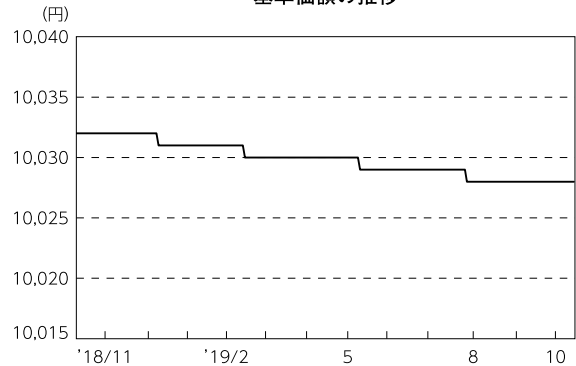
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2018/10/12	2018/10/15	2019/07/29	2019/10/15
10,032円	10,032円	10,028円	10,028円

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、10,029円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	587,539	100.0
投資信託財産総額	587,539	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				587,539,135
	コール・ローン等			587,539,135
(B) 負債				566,667
	未払解約金			566,564
	未払利息			103
(C) 純資産総額(A-B)				586,972,468
	元本			585,356,899
	次期繰越損益金			1,615,569
(D) 受益権総口数				585,356,899口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,028円

(注) 当ファンドの期首元本額は594,074,221円、期中追加設定元本額は238,040,716円、期中一部解約元本額は246,758,038円です。

(注) 2019年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	206,424,997円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	623,465円
・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	202,343,309円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	519,821円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	20,897,941円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	484,618円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	20,061,866円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	466,936円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	13,870,727円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	454,107円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	11,942,765円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	434,138円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	10,967,392円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	413,586円
・エマーゼンダ・プラス(マネーボールファンド)	10,557,157円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	377,932円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,368,109円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	361,850円
・世界標準債券ファンド	9,573,068円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	189,420円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,592,716円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	164,194円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	7,033,730円	・グローバル株式トップフォーカス	121,897円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	6,712,463円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	109,758円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼンダ)	99,902円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	5,813,207円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	98,529円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,439,097円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	63,097円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,102,333円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	61,585円
・グリーン世銀債ファンド	2,959,931円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	53,524円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,620,710円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	37,483円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,534,133円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,763,739円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	1,734,939円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・SMB C・日興世銀債ファンド	1,691,081円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	19,536円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,668,669円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	14,422円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,473,949円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	10,129円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,125,339円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,080,880円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,937円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,055,594円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,034,578円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,033円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	822,374円		
・日興グラビティ・ファンド	765,053円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0028円です。

○損益の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	226,411
	支払利息		1,324
(B) 保管費用等		△	227,735
(C) 当期損益金(A+B)		△	26,156
(D) 前期繰越損益金			252,567
(E) 追加信託差損益金			1,925,202
(F) 解約差損益金			688,138
(G) 計(C+D+E+F)		△	745,204
	次期繰越損益金(G)		1,615,569

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年10月13日から2019年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年1月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第47条)